

ORCA 医療区分・ADL 登録 API 版

Ver-01.02.01.00

和幸システム株式会社

はじめに

ORCA 医療区分・ADL 登録 API 版（以下、本システムと略す）は、電子カルテで作成された医療区分やADL 点数をORCA に転送するシステムで、ORCA 標準のAPI を利用してデータを保存するシステムです。

起動と終了

起動は、プログラムメニューから、ORCA 医療区分・ADL 登録 API 版を起動して下さい。

終了は、メイン画面の終了ボタンをクリックして下さい。

起動時にSTART のパラメータがあれば、自動的に処理開始状態になります。

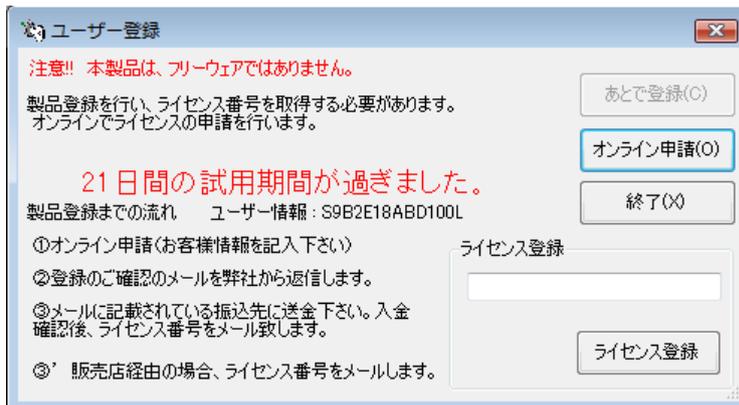
ライセンスの登録

本システムは、ライセンス登録を行わないと、一定期間経過後は、使用できなくなります。

次の画面が表示されたら、オンライン申請をクリックして下さい。

試用する場合は、あとで登録をクリックして業務を開始して下さい。

ライセンスを登録する場合は、ライセンス登録欄に指定の内容を入力後、ライセンス登録をクリックして下さい。



オンライン申請の画面です。インターネット経由で登録画面が表示されますので、必要事項を記入して、送信ボタンをクリックして下さい。

ライセンス登録のご案内メールをお送りしますので、その内容に従って下さい。

ORCA 医療区分・ADL登録API版 申請

下記のフォームに入力後、送信ボタンをクリックして申請下さい。購入方法のメールお送り致します。
ご入金確認後、購入パスワードを送付致します。
個人情報に関しては、当社内で厳重管理し、第三者に公表することはありません。

尚、フリーメールのアドレスでの申請は、お断りしております。

必要項目を入力し、送信ボタンを押して下さい (※の部分は必須項目)		
ユーザー情報 ※	S9B2E18ABD100L	(このまま変更しないで下さい)
ふりがな ※ 全角ひらがなで指定		
ご担当者氏名(漢字)※		
E-Mailアドレス ※ 全て半角で指定		
医療機関名※		
所属		

メイン画面

本システムのメイン画面です。終了ボタンをクリックすると業務を終了します。

。



初回起動時のORCA API設定

初回起動時またはORCAと接続ができない場合、ORCAの情報を登録する必要があります。手動で実行する場合は、メイン画面のツールメニューのORCA API設定をクリックします。

ORCAのホスト名、ポート番号、PostgreSQLのユーザー名とパスワードを指定して下さい。オンプレ版は、例のように指定して下さい。

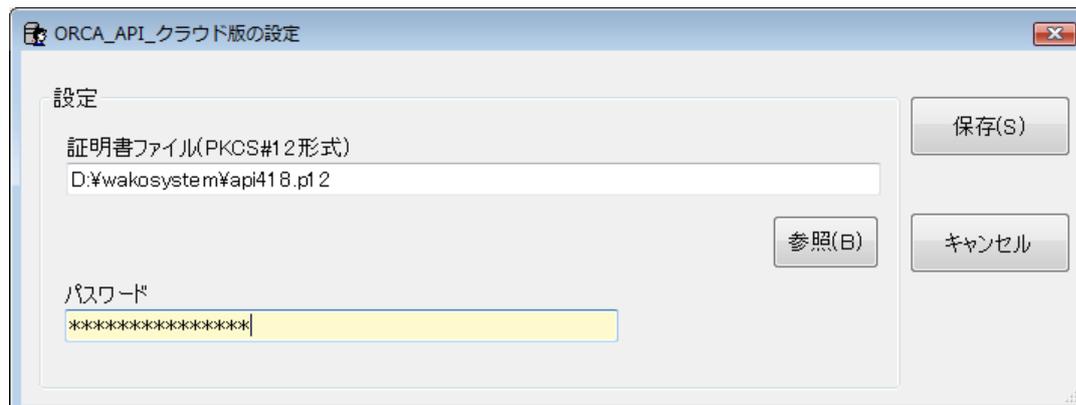
クラウド版は、ホスト名、ポート番号は、ユーザー名は、代理店様から連絡の内容を指定して下さい。パスワードは、APIパスワードです。

API監視間隔に関しては、本システムでは使用しておりませんが1を指定して下さい。



ORCA クラウド版の設定

クラウド ORCA に接続するための証明書情報等指定します。代理店様にご確認下さい。
ツールメニューの ORCA クラウド版設定をクリックします。
証明書ファイルと証明書のパスワードを指定し、保存をクリックして下さい。



オプションの設定

電子カルテ等からの連携ファイル関連の設定を行います。

ツールメニューのオプションをクリックします。

監視フォルダーは、連携ファイルが出力されるフォルダーです。

監視間隔は、そのフォルダー内に連携ファイルが存在するかの監視間隔ですが、**間隔が短いと ORCA 側での API 処理がうまくいかない場合がありますので、20 秒から 60 秒の範囲**で指定して下さい。

出力フォルダーは、現在使用しておりませんので、無指定で構いません。

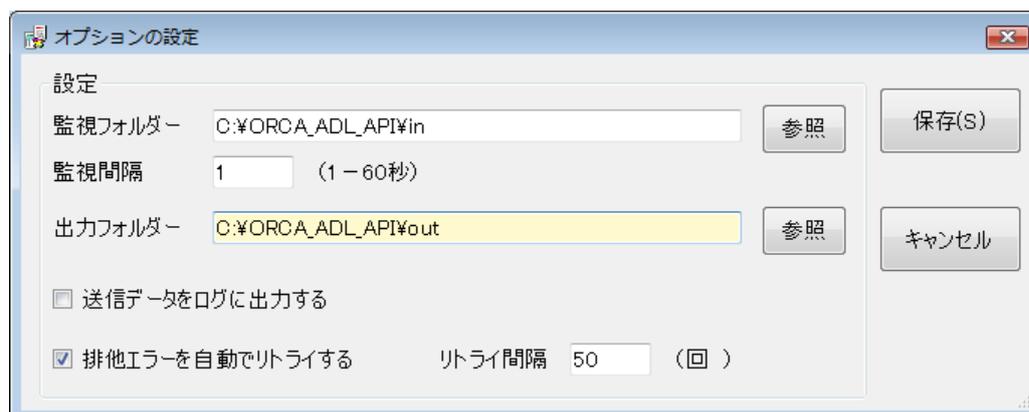
送信データをログに出力するは、原因不明のエラー等を調査する際に、代理店や弊社から指示があった場合に一定期間チェックをして下さい。ORCA に送信したデータを保存します。

排他エラー（ORCA で患者データを処理中の場合に発生）の場合は、自動でリトライすることも可能です。自動でリトライする場合は、チェックを行います。

リトライ間隔を指定すると、次の計算式の時間間隔でリトライ処理を行います。

監視間隔 1 秒で、リトライ間隔 50 回の場合、 1×50 で、50 秒毎に自動リトライを行います。

API 送信処理もありますので、実際には、50 秒以上の間隔で自動リトライを行います。



通常処理

開始ボタンをクリックすると、処理を開始します。

処理の経過が表示されます。※この表示は、自動リトライが未設定の場合です。



内部処理の流れは、以下の通りです。

1. 電子カルテから出力された関係情報ファイルがあるか連携フォルダーを調査します。
2. ファイル（拡張子 TXT）があれば、作業領域に移動（上書き）します。
複数のファイルが存在しても 1 個のみ処理。
3. 作業領域のファイルを読み込み、送信用データを作成します。
4. 作成したデータを ORCA に送信し、応答を受信し、表示します。
5. 指定された秒数待機し、その後、1 に戻り処理を繰り返します。

エラーメッセージは、日医様の以下のホームページで公開されていますので、参考にして下さい。

<https://www.orca.med.or.jp/receipt/tec/api/hospentry.html#errmsg>

エラーの判定方法や原因等の詳細に関しては、ORCA 側より公開されておりませんので不明です。

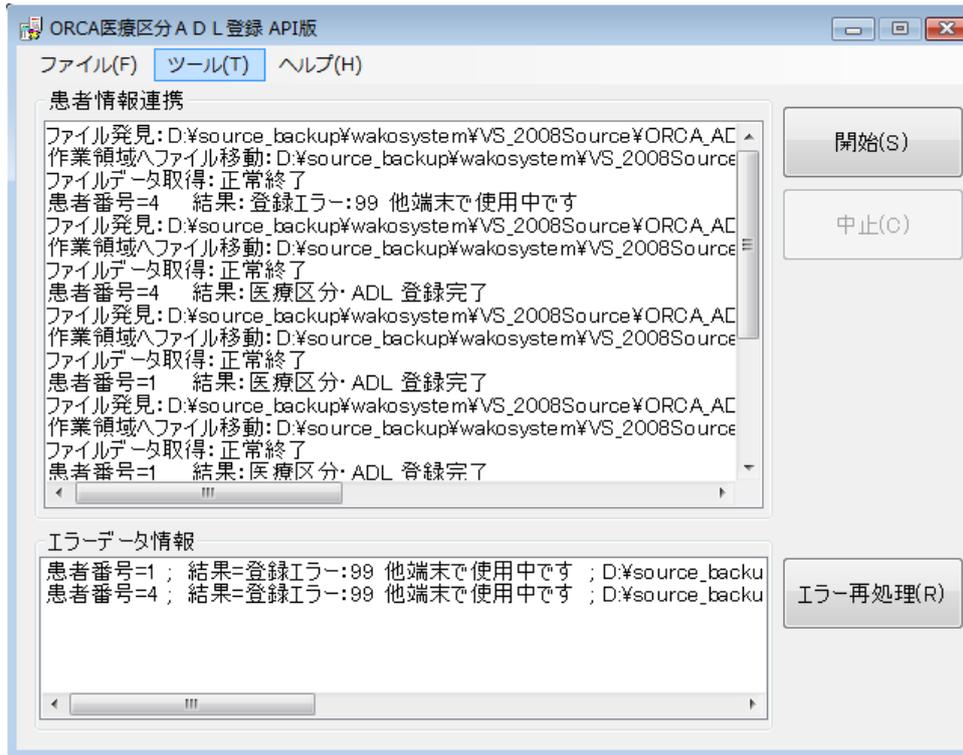
API 使用上の注意 ※不明な点も多いので、ユーザー様環境で十分確認下さい。

■本システムで利用している医療区分・ADL 登録の API は、患者単位で排他状態が必要なため、処理患者が ORCA で開かれている場合（どの業務までが該当かは不明）、登録エラーになります。

■医療区分・ADL 登録の API の内部処理速度等は不明ですので、短時間に連続処理を行うと、想定外の動作を行う場合があるかもしれませんので、実行間隔に余裕をもって処理して下さい。

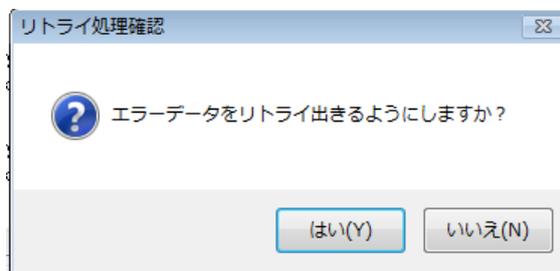
エラーデータのリトライ処理

エラーで登録できない場合は、エラーデータ情報にデータが表示されます。



エラーデータが表示された状態で、エラー再処理ボタンをクリックします。処理停止中のみ可能です。

確認メッセージが表示されます。



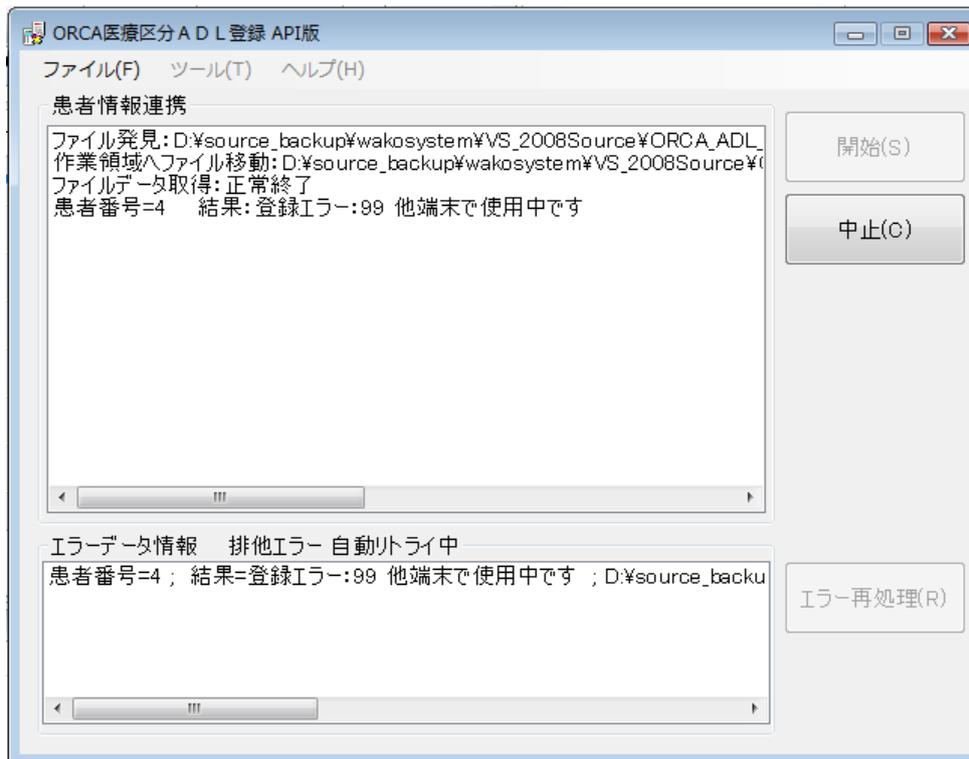
はいをクリックすれば、エラーの発生したファイル全てを連携フォルダーに移動します。

エラーデータの表示が無くなったのを確認し、開始ボタンをクリックして処理を開始して下さい。

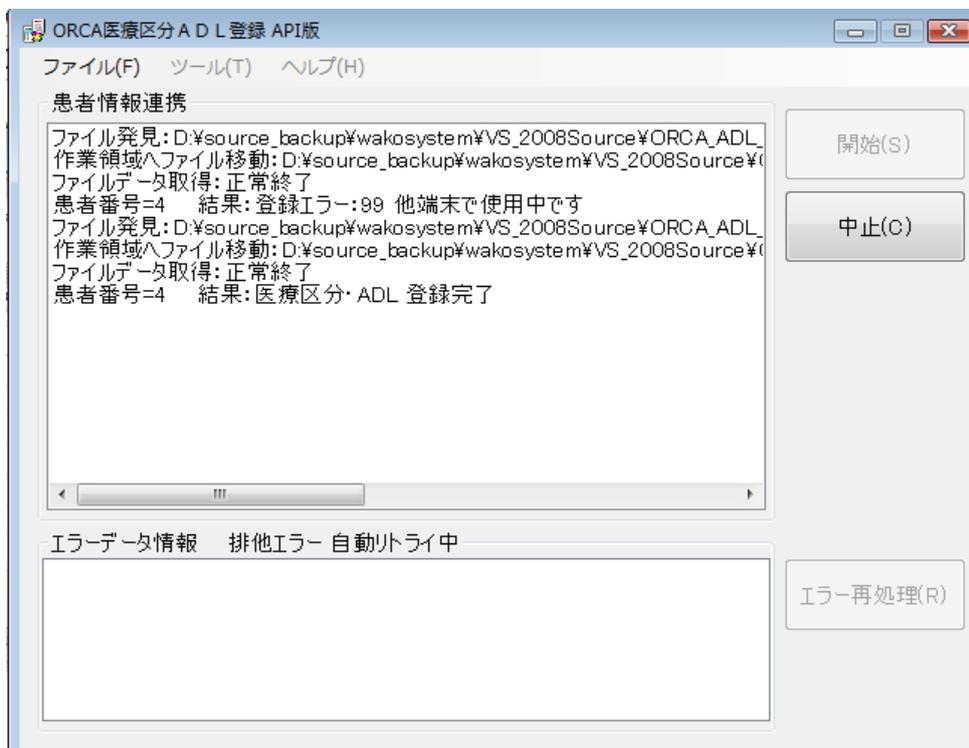
排他エラー自動リトライ指定の場合

排他エラー自動リトライの場合、指定間隔でリトライを繰り返します。

エラーが発生した場合は、エラー情報に表示されます。※排他エラー 自動リトライ中の表示あり。



指定間隔後に、自動でリトライ処理を行います。この場合は、正常に登録されましたが、再度エラーの場合は、エラーデータ情報に表示されて、またリトライ処理待機になります。

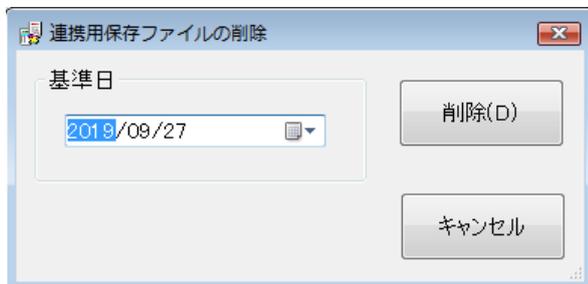


作業用（電子カルテ 医療区分・ADL 連携）ファイル削除

本システムでは、電子カルテとの連携ファイルを後日検証用のために保存しております。
必要に応じてデータを削除することが可能です。

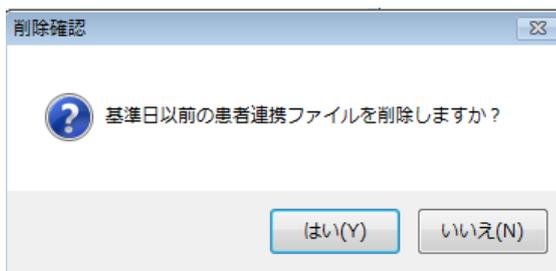
通常は、1ヶ月程度は保存しておいて下さい。

ツールメニューのオプションの連携ファイル削除をクリックします。

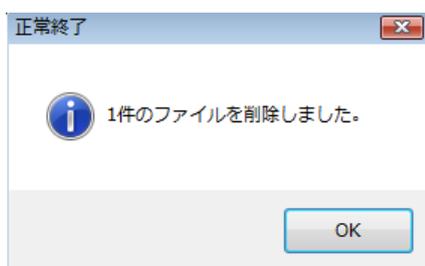


作業用ファイルを削除する基準日を指定し、削除ボタンをクリックします。基準日は、作成日になります。
基準日以前のデータが削除されます。

確認画面が表示されますので、削除する場合は、はいをクリックします。



削除が完了すれば、メッセージが表示されます。



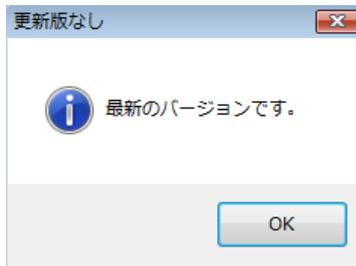
エラーに関して

本システムは、十分なテストのもとに出荷しておりますが、想定しないケースでエラーが発生することもあります。万一エラーが発生した場合は、そのエラーメッセージや行っていた操作等を記録して、お問い合わせ下さい。内容をお聞きし、対応を行います。

最新バージョンの提供

最新のバージョンを確認する場合は、ヘルプメニューのバージョンアップ確認をクリックします。

最新のバージョンが提供されていない場合は、次の表示があります。



最新のバージョンが提供されている場合は、更新確認の画面が表示されますので、必要時は、はいをクリックします。



その他

機能の追加等に関しては、随時受け付けております。内容によって、別途有料で対応の場合もありますが、検討して対応をご連絡します。

以下余白